

平成26年度 第5回美術館セミナー
実技&トーク「ドローイングのように描く銅版画」
講師：佐藤杏子氏（銅版画作家）

- 1 日時 平成27年1月17日（土） 午後10時から午後4時30分まで
- 2 場所 茨城県近代美術館 講座室，企画展示室
- 3 参加者 県内の小・中・高等学校の教員，一般
- 4 活動内容
9:00～10:00 受付（地階講座室前）
10:00～10:10 日程の説明
10:10～10:40 アーティストトーク①

企画展「作家とアトリエ」に作品を出品している佐藤杏子氏によるアーティストトーク。銅版画作品やそれが生まれるアトリエに関して，分かりやすく興味深い話を聞くことができた。プレス機も展示していたため，その説明も合わせて聞くことができた。「分かりやすい解説だった。銅版画作品の見方が変わった。」「大きくて立派なプレス機で驚いた。」「制作の前に作家の話が聞けて良かった。」という感想が寄せられた。



10:50～12:00 アーティストトーク②
「ドライポイントについて」

佐藤氏より，ドライポイントの技法，道具等の説明があった。エッチングやメゾチントなど他の技法との違い，自分の思いやイメージをドローイングのように描く方法など，様々な話を聞いた後，制作を始めた。始めに，道具の使い方，力の入れ具合などを試すために参加者全員が1枚の銅板に少しずつ描画し，その後自分の制作に進んだ。参加者はそれぞれ自分で試してみたい道具を持参しており，楽しそうに描画を進めていた。「思いのままに描くのは難しい。」「（他の参加者がもってきた道具を見て）いろいろなものが道具になることが面白かった。」という声を聞くことができた。

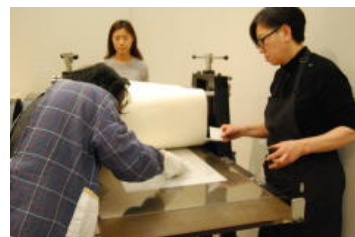




12:00～13:30 昼食・休憩（展覧会鑑賞）

13:30～16:00 ワークショップ
「ドローイングのように描く銅版画」
講師：佐藤杏子先生（銅版画作家）

始めに、佐藤氏による刷りのデモンストレーションを行った。午前中に参加者がみんなで描画した銅板を用いた。インクの付け方、拭き取り方、印刷の仕方等丁寧な説明があった。今回は、企画展示室にプレス機を展示してあったため、企画展示室でお客様がしている中の印刷となった。講師の佐藤氏が各作業の実演を丁寧に行ったり、美術館職員が作業場について補助を行ったりしたため、混乱なく進めることができた。「銅版画は初めてだったが、丁寧に指導してもらって良かった。」「満足のいく作品になって嬉しい。」「楽しかった。」「作家の方の話を聞けて、制作までできるなんて贅沢な1日だった。今後もこのような企画を続けてほしい。」という感想が寄せられた。



16:00～16:30 鑑賞会

出来上がった作品をみんなで鑑賞しながら、感想を話した。講師から作品に関するコメントがあり、参加者は満足げな表情だった。「美術館のプレス機を開放できるといいのに。」「不安もあったが、楽しく参加できた。」「皆さんの作品を見るのも参考になった。」等という感想を聞くことができた。



16:30～

アンケート記入，諸連絡